

環境教育掲示用教材 解説書

東京都教育委員会では「東京都教育ビジョン（第3次・一部改定）」の中で、体験的な活動等を取り入れた環境学習を通じて、子供たちが自主的・積極的に環境保全活動に取り組むことが重要であると示しています。

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えるとともに、3Rをはじめとする環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。

本解説書では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の特徴

特徴 1

地球環境保全に関する課題を各回のテーマに設定し、児童・生徒が地球環境保全に高い関心をもち、環境に配慮した行動を促す内容を掲載します。

特徴 2

発達段階に応じた内容となるよう、小学校低学年版、小学校中学年版、小学校高学年版、中学校・高等学校版の4種類を作成します。

特徴 3

都内公立学校の全ての学級に年4回配布し、教室等に掲示することを通して、環境教育への取組を支援します。

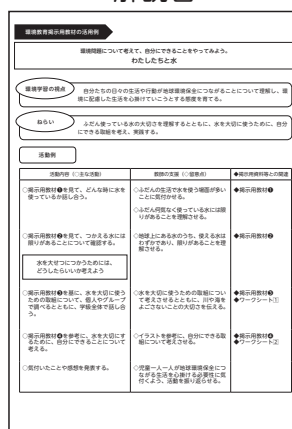
特徴 4

学校の授業等で活用できるよう、短時間の活用例等を紹介した解説書と児童・生徒用のワークシートを添付します。

環境教育掲示用教材



解説書



ワークシート



環境問題について考えて、自分にできることをやってみよう。

わたしたちと水

環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

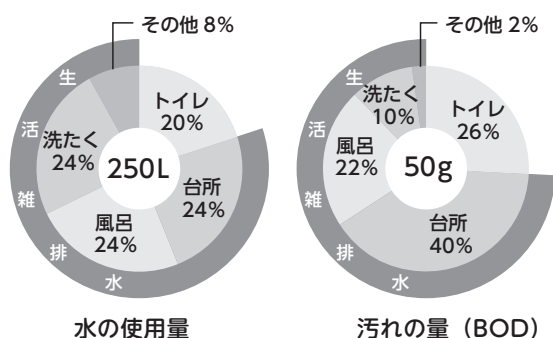
ふだん使っている水の大切さを理解するとともに、水を大切に使うために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動例

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用資料等との関連
○掲示用教材①を見て、どんな時に水を使っているか話し合う。	◇ふだんの生活で水を使う場面が多いことに気付かせる。	◆掲示用教材①
○掲示用教材②を見て、つかえる水には限りがあることについて確認する。	◇ふだん何気なく使っている水には限りがあることを理解させる。	◆掲示用教材②
水を大せつにつかうためには、どうしたらいいか考えよう		
○掲示用教材③を基に、水を大切に使うための取組について、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。	◇水を大切に使うための取組について考えさせるとともに、川や海をよごさないことの大切さを伝える。	◆掲示用教材③ ◆ワークシート①
○掲示用教材④を参考に、水を大切にするために、自分にできることについて考える。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。	◆掲示用教材④ ◆ワークシート②
○気付いたことや感想を発表する。	◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	



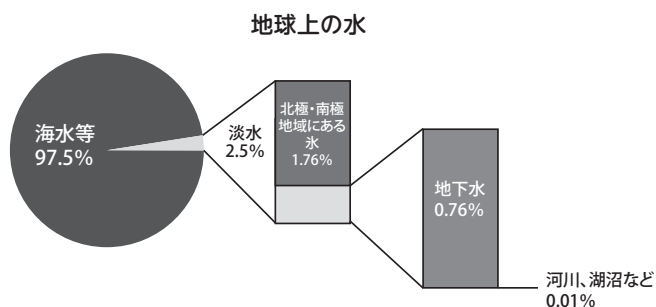
① 水の使用量と汚れの量（出典：東京都水道局）



② 地球上の水の量

（出典：国土交通省「日本の水資源の現況 平成29年」）

地球上に存在する水の量は、およそ14億km³であるといわれています。そのうちの約97.5%が海水等であり、淡水は約2.5%です。この淡水の大部分は南・北極地域などの氷や氷河として存在しており、地下水や河川、湖沼の水などとして存在する淡水の量は、地球上の水の約0.8%です。さらに、この約0.8%の水のほとんどが地下水として存在し、河川や湖沼などの水として存在する淡水の量は、地球上に存在する水の量のわずか約0.01%、約0.001億km³にすぎません。



③ 水を大切にするために

水が汚れる原因は、台所、風呂、洗濯で使った水やトイレからの排水など、私たちのふだんの生活から出る生活排水が原因です。その他、工場から出る工業排水、農薬や廃棄物から出る汚染物質などもあります。また、大気中の汚染物質を含んだ雨も原因の一つとされていますが、最も大きな原因は家庭から出る生活排水です。

◆暮らしと水のつながり

山などに降った雨は川や海に流れます。川に流れた水は浄水場できれいにされて、私たちの家庭に届きます。家庭で使った水は下水処理場に流れ、また川や海に帰ります。川や海の水は、蒸発して大気の中で雨になります。このように、水は地球の中で循環しています。

◆水が汚れる原因

私たちが食べ残したのものには、窒素やリンなどの有機物が含まれています。これらを含む排水が台所から下水を通して川や海に流れ、川や海を汚すこととなります。

④ 自分のできることのヒント

- ・風呂では、シャンプーの使いすぎに注意しましょう。
- ・歯磨きをする時は、水道の水を流したままにしないようにしましょう。
- ・食事は残さず食べて、食べ残しを出さないようにしましょう。
- ・庭木や植木の水やりには、雨水や風呂の残り湯を使いましょう。

東京都の主な環境学習施設

区市町村名	施設名称	所在地	問合せ先
瑞穂町	みずほエコパーク	瑞穂町大字箱根ヶ崎 1736	042-557-5364
日の出町	東京たま広域資源循環組合	西多摩郡日の出町大字大久野 7642	042-597-6151
檜原村	檜原都民の森	西多摩郡檜原村数馬 7146	042-598-6006
奥多摩町	奥多摩都民の森	西多摩郡奥多摩町境 654	0428-83-3631
	奥多摩 水と緑のふれあい館	西多摩郡奥多摩町原 5	0428-86-2731
	奥多摩ビジターセンター	西多摩郡奥多摩町氷川 171-1	0428-83-2037
	山のふるさと村ビジターセンター	西多摩郡奥多摩町川野 1740	0428-86-2551
大島町	東京都立大島公園・動物園	大島町泉津字福重 2	04992-2-9111
利島村	利島村郷土資料館	利島村 248	04992-9-0331
新島村	新島村博物館	新島村本村 2-36-3	04992-5-7070
神津島村	神津島村郷土資料館	神津島村 118	04992-8-0947
三宅村	三宅島自然ふれあいセンター（アカコッコ館）	三宅村坪田 4188	04994-6-0410
御蔵島村	御蔵島観光資料館	御蔵島村	04994-8-2022
八丈町	八丈ビジターセンター	八丈島八丈町大賀郷 2843	04996-2-4811
青ヶ島村	丸山遊歩道	青ヶ島村無番地	04996-9-0111
小笠原村	小笠原ビジターセンター	小笠原村父島字西町	04998-2-3001
	小笠原海洋センター	小笠原村父島字屏風谷	04998-2-2830

かんきょうもんだい かんが じぶん
環境問題について考えて、自分にできることをやってみよう。

わたしたちと水^{みず}

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前

1 ^{みず}水を大せつにつかうためには、どうしたらいいかな？

あらいものをするときも
^{みず}みずはこまめにとめよう



しょくぶつへの水やりは
^{みず}あま水をつかおう



かわ うみ
川や海をよごさないようにしましょう



2 ^{じぶん}自分にできることをやってみよう。